



東京大学大学院・博士課程教育リーディングプログラム
活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム

平成29年度シラバス集



■ 平成 29 年度履修要件	1
■ 平成 29 年度カリキュラム一覧表	2-3
■ 夏・冬学期 時間割日程表	4
■ キャンパスマップ	5
■ (必修)高齢社会総合研究学概論Ⅰ(高齢者の体と心:老いとつきあう):3799-220	6
■ (必修)高齢社会総合研究学概論Ⅱ(高齢社会のリ・デザイン):3799-221	7
■ (選択必修)高齢社会総合研究学特論Ⅰ(高齢社会を支える諸制度):3799-222	8
■ (選択必修)高齢社会総合研究学特論Ⅱ(超高齢社会の住まい・まちづくり):3799-223	9
■ (選択必修)高齢社会総合研究学特論Ⅳ(高齢社会のケア・サポート・システム):3799-225	10
■ (選択必修)高齢社会総合研究学特論Ⅵ(高齢者法):3799-227	11
■ (選択必修)高齢社会総合研究学特論Ⅷ(高齢社会の人文学・社会科学):3799-229	12
■ (選択必修)高齢社会総合研究学特論Ⅸ(高齢者の食と健康(維持)):3799-230	13
■ (選択必修)高齢社会総合研究学特論Ⅹ(ジェロンテクノロジー):3799-231	14
■ (選択)実定法特殊研究(社会保障法概説):25-302-48	15
■ (選択)文化情報継承論:4990120	16
■ (選択)食の科学ゼミナールⅠ:3912148	17
■ (選択)食の科学ゼミナールⅡ:3912149	18
■ (選択)行政看護学特論:41421351	19
■ (選択)緩和ケア看護学特論Ⅱ:41041124	20
■ (選択)高齢者在宅長期ケア看護学特論Ⅱ:41721232	21
■ (選択)高齢者在宅長期ケア看護学特論Ⅰ:41721241	22
■ (選択)老年看護学特論Ⅱ:41721282	23
■ (選択)医学概論:47240-19	24
■ (選択)研究倫理/医療倫理Ⅰ:47240-25	25
■ (選択)基礎演習Ⅰ(病院実習):47243-01	26
■ (選択)基礎講義Ⅰ(情報生命解析):47240-01	27
■ (選択)基礎講義Ⅱ(細胞の生化学、遺伝情報発現の基礎):47240-02	28
■ (選択)基礎講義Ⅲ(細胞から個体に至るゲノム医科学の基礎):47240-03	29
■ (選択)システム生物学:47240-35	30
■ (選択)オーミクス論:47240-32	31
■ (選択)発展講義Ⅷ(医学におけるバイオインフォマティクスの応用例):47240-11	32
■ (選択)先端バリアフリー論:3788-063	33
■ (選択)高齢社会総合研究学特論ⅩⅩⅦ(生殖・発達・加齢医学入門):3799-266	34
■ (必修)高齢社会総合研究学演習Ⅰ～Ⅹ:3799-250～259	35
■ お問い合わせ・連絡先情報	

平成 29 年度履修要件

本プログラムのコース生は、所属専攻の履修要件を満たすと同時に、本プログラムの提供する科目について 20 単位(講義 10 単位・演習 10 単位)以上、ただし、4 年制博士課程に所属するコース生は 18 単位(講義 10 単位・演習 8 単位)以上を、博士後期課程入学時から本プログラムに編入したコース生は 16 単位(講義 10 単位・演習 6 単位)以上を取得し、所属専攻における博士論文の審査に合格し、本プログラム固有の博士論文の審査に合格した場合、「高齢社会総合研究プログラム修了証」が授与されるとともに、所属専攻が授ける博士の学位記に「高齢社会総合研究プログラム修了」という認定が付記される。

なお、博士前期課程(修士課程)において(4 年制博士課程においては 2 年次年度末までに)12 単位(講義 8 単位・演習 4 単位)以上を取得すること。ただし、博士後期課程入学時から本プログラムに参加したコース生は博士後期課程修了時までには 16 単位(講義 10 単位・演習 6 単位)以上を取得するものとする。

東京大学大学院・博士課程教育リーディングプログラム
「活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム」(GLAFS)

平成 29 年度カリキュラム一覧

科目番号	開講科目名称・講義別名	単位数	開講区分	主担当教員名	曜日	時限(開始・終了)	必修 選択必修 選択	開講日・ 講義室名・その他特記事項
講義 (必修)								
3799-220	高齢社会総合研究学概論Ⅰ 高齢者の体と心：老いにつきあう	2	夏学期 (S1S2)	大方	水	6 限 18:45-20:30	必修	4/12～7/12 本郷：工学部 11 号館講堂
3799-221	高齢社会総合研究学概論Ⅱ 高齢社会のり・デザイン	2	冬学期 (A1A2)	大方	水	6 限 18:45-20:30	必修	10/4～1/17 本郷：工学部 11 号館講堂
講義 (選択必修：6 単位以上取得)								
3799-222	高齢社会総合研究学特論Ⅰ 高齢社会を支える諸制度	2	冬学期	大方	未定	未定	選択必修	未定
3799-223	高齢社会総合研究学特論Ⅱ 超高齢社会の住まい・まちづくり	2	夏学期 (S1)	大方	火	6 限-7 限 18:45-22:25	選択必修	4/4～5/30 本郷工学部 14 号館 141 室
3799-224	高齢社会総合研究学特論Ⅲ	2					今年度開校未定	
3799-225	高齢社会総合研究学特論Ⅳ 高齢社会のケア・サポート・システム	2	夏学期 (S2)	秋下	木	5 限-6 限 16:50-20:30	選択必修	6/8～7/13 本郷：工学部 8 号館 722 号室
3799-226	高齢社会総合研究学特論Ⅴ	2					今年度開校未定	
3799-227	高齢社会総合研究学特論Ⅵ 高齢者法	2	冬学期 (A1A2)	樋口 松井	金	2 限 10:25-12:10	選択必修	9/29～ 本郷：工学部 8 号館 722 号室
3799-228	高齢社会総合研究学特論Ⅶ	2					今年度開校未定	
3799-229	高齢社会総合研究学特論Ⅷ 高齢社会の人文学・社会科学	2	冬学期 (A1A2)	武川	木	5 限 16:50-18:35	選択必修	9/28～1/11 本郷：法文 1 号館 115 号室
3799-230	高齢社会総合研究学特論Ⅸ 高齢者の食と健康 (維持)	2	冬学期 (A1A2)	飯島	火	5 限-6 限 16:50-20:30	選択必修	11/7～12/19 本郷：工学部 8 号館 722 号室
3799-231	高齢社会総合研究学特論Ⅹ ジェロントテクノロジー	2	冬学期 (A1A2)	鎌田 檜山	金	5 限-6 限 16:50-20:30	選択必修	10/6～ 本郷：工学部 11 号館講堂
3799-232	高齢社会総合研究学特論Ⅺ	2					今年度開校未定	
3799-233	高齢社会総合研究学特論Ⅻ	2					今年度開校未定	
講義 (選択)								
25-302-48	実定法特殊研究 社会保障法概説	2	冬学期 (A1A2)	菊池	火	2 限 10:25-12:10	選択	本郷：法文 1 号館 21 番教室
4990120	文化情報継承論	2	冬学期 (A1A2)	廣瀬 谷川 鳴海	火	3 限 13:00-14:45	選択	本郷：工学部 2 号館 9 階 93B 室
3912148	食の科学ゼミナールⅠ	2	S1 A1	中嶋	木	6 限 18:45-20:30	選択	4/13～ 弥生：農学部 1 号館 2 階 8 番講義室
3912149	食の科学ゼミナールⅡ	1	S1+SP	中嶋	火	6 限 18:45-20:30	選択	4/11～ 弥生：農学部 7 号館 A 棟 114・115 号室
41421351	行政看護学特論	2	冬学期 (A1A2)	成瀬	水	1 限-2 限 8:30-12:10	選択	9/13～ 本郷：医学部 5 号館 109 号室
41041124	緩和ケア看護学特論Ⅱ	2	冬学期 (A1A2)	山本	木	3 限-4 限 13:00-16:40	選択	9/28～ 本郷：医学部 5 号館 210 号室
41721232	高齢者在宅長期ケア看護学特論Ⅱ	2	冬学期 (A1A2)	山本	木	3 限-4 限 13:00-16:40	選択	10/5～ 本郷：医学部 5 号館 210 号室

科目番号	開講科目名称・講義別名	単位数	開講区分	主担当教員名	曜日	時限(開始・終了)	必修 選択必修 選択	開講日・ 講義室名・その他特記事項
4172 1241	高齢者在宅長期ケア看護学特論Ⅰ	2	夏学期 (S1S2)	山本	木	3限-4限 13:00-16:40	選択	4/13～ 本郷：医学部5号館210号室
4172 1282	老年看護学特論Ⅱ	2	冬学期 (A1)	真田	月	5限-6限 16:50-20:30	選択	9/25～ 本郷：医学部3号館N101号室
47240 -19	医学概論	1	夏学期 (S1S2)	内丸 松田	木/金	右特記を参照	選択	5/19 (1-4限)、5/25 (1-3限) 柏：生命棟セミナー室1、白金台：医科研2号館大講義室、 本郷：分生研本館2階会議室(206号室)
47240 -25	研究倫理/医療倫理Ⅰ	1	夏学期 (S1S2)	武藤 伊藤	木	右特記を参照	選択	6/29 (2-5限)、7/6 (3-5限) 柏：生命棟セミナー室1、白金台：医科研2号館大講義室、 本郷：分生研本館2階会議室(206号室)
47243 -01	基礎演習Ⅰ 病院実習	1	通年	内丸 松田	月～金	右特記を参照	選択	5日間集中講義(第1期：10/16-20、第2期：11/13-17、第3期： 12/18-22、第4期：1/22-26、第5期：2/5-9のいずれかから選択)※S1 S2タームの「医学概論(27240-19)」および「研究倫理/医療倫理Ⅰ (47240-25)」を単位取得した者が履修出来る。
47240 -01	基礎講義Ⅰ 情報生命解析	2	夏学期 (S1)	笠原 岩崎 曲	水	1限-2限 8:30-12:10	選択	4/5 (1-2限)(初回)、その他未定。 本郷：理学部3号館412号室、柏：情報生命科学実験棟2F講義室、 台場：臨海副都心センター別館セミナー室
47240 -02	基礎講義Ⅱ 細胞の生化学、遺伝情報発現の基礎	2	夏学期 (S1S2)	伊藤 富田(耕) 上田 富田(野)	木/金	右特記を参照	選択	5/11 (2-5限)、5/12 (2-4限)、5/18 (2-4限)、5/26 (2-5限) 柏：生命棟セミナー室1、白金台：医科研2号館大講義室、 本郷：分生研本館2階会議室(206号室)
47240 -03	基礎講義Ⅲ 細胞から個体に至るゲノム医学の基礎	2	夏学期 (S1S2)	佐藤 菅野 松田 渡邊	木/金	右特記を参照	選択	6/15 (2-4限)、6/16 (2-4限)、6/22 (3-5限)、6/30 (2-5限)、7/13 (2-4限) 柏：生命棟セミナー室1、白金台：医科研2号館大講義室、本郷：分生研本館2階会 議室(206号室)
47240 -35	システム生物学	1	夏学期 (S2)	黒田	金	1限 8:30-10:15	選択	6/9 (1限)(初回)、その他未定。 本郷：理学部3号館412号室、柏：情報生命科学実験棟2F講義室、 台場：臨海副都心センター別館セミナー室
47240 -32	オーミクス論	1	冬学期 (A1)	鈴木	水	2限 10:25-12:10	選択	10/4 (2限)(初回)、その他未定。 本郷：理学部3号館412号室、柏：情報生命科学実験棟2F講義室、 台場：臨海副都心センター別館セミナー室
47240 -11	発展講義Ⅷ 医学におけるバイオインフォマティクスの応用例	1	冬学期 (A1A2)	森下 中井	木/金	右特記を参照	選択	11/24 (2-5限)、1/11 (2-4限)。 柏：生命棟セミナー室1、白金台：医科研2号館大講義室、本郷： 分生研本館2階会議室(206号室)
3788 -063	先端バリアフリー論	2	夏学期 (S1S2)	巖淵	木	5限 16:50-18:35	選択	4/13～ 駒場Ⅱ：先端研3号館2階207室
3799 -266	高齢社会総合研究学特論X XⅦ 生殖・発達・加齢医学入門	0.5	冬学期 (A2W)	大須賀	火	5限 16:50-18:35	選択	11/28, 1/9, 2/13 本郷：医学部教育研究棟13階第6セミナー室 ※医学系研究科で開講している生殖・発達・加齢医学入門の授 業の中、加齢医学の授業を履修申請すること。
演習(必修※1)								
3799 -250	高齢社会総合研究学演習Ⅰ	1	夏学期	各教員	土	1限-5限 08:30-18:35	必修	本郷：工学部8号館722・701・702号室・ 工学部11号館講堂他
3799 -251	高齢社会総合研究学演習Ⅱ	1	冬学期	各教員	土	1限-5限 08:30-18:35	必修	同上
3799 -252	高齢社会総合研究学演習Ⅲ	1	夏学期	各教員	土	3限-5限 13:00-18:35	必修	同上
3799 -253	高齢社会総合研究学演習Ⅳ	1	冬学期	各教員	土	3限-5限 13:00-18:35	必修	同上
3799 -254	高齢社会総合研究学演習Ⅴ	1	夏学期	各教員	土	3限-5限 13:00-18:35	必修	同上
3799 -255	高齢社会総合研究学演習Ⅵ	1	冬学期	各教員	土	3限-5限 13:00-18:35	必修	同上
3799 -256	高齢社会総合研究学演習Ⅶ	1	夏学期	各教員	土	3限-5限 13:00-18:35	必修	同上
3799 -257	高齢社会総合研究学演習Ⅷ	1	冬学期	各教員	土	3限-5限 13:00-18:35	必修	同上
3799 -258	高齢社会総合研究学演習Ⅸ	1	夏学期	各教員	土	3限-5限 13:00-18:35	必修	同上
3799 -259	高齢社会総合研究学演習Ⅹ	1	冬学期	各教員	土	3限-5限 13:00-18:35	必修	同上

※1：4年生博士課程に所属するコース生は演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ、Ⅹを順に履修すること。博士後期課程入学時から本プログラムに編入したコース生は演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅸ、Ⅹを順に履修すること。
開講日等の情報が空欄□となっている科目は、今年度開講しない科目である。
シラバスの詳しい情報はUT-mateでご確認ください。

夏・冬学期 時間割日程表

必修

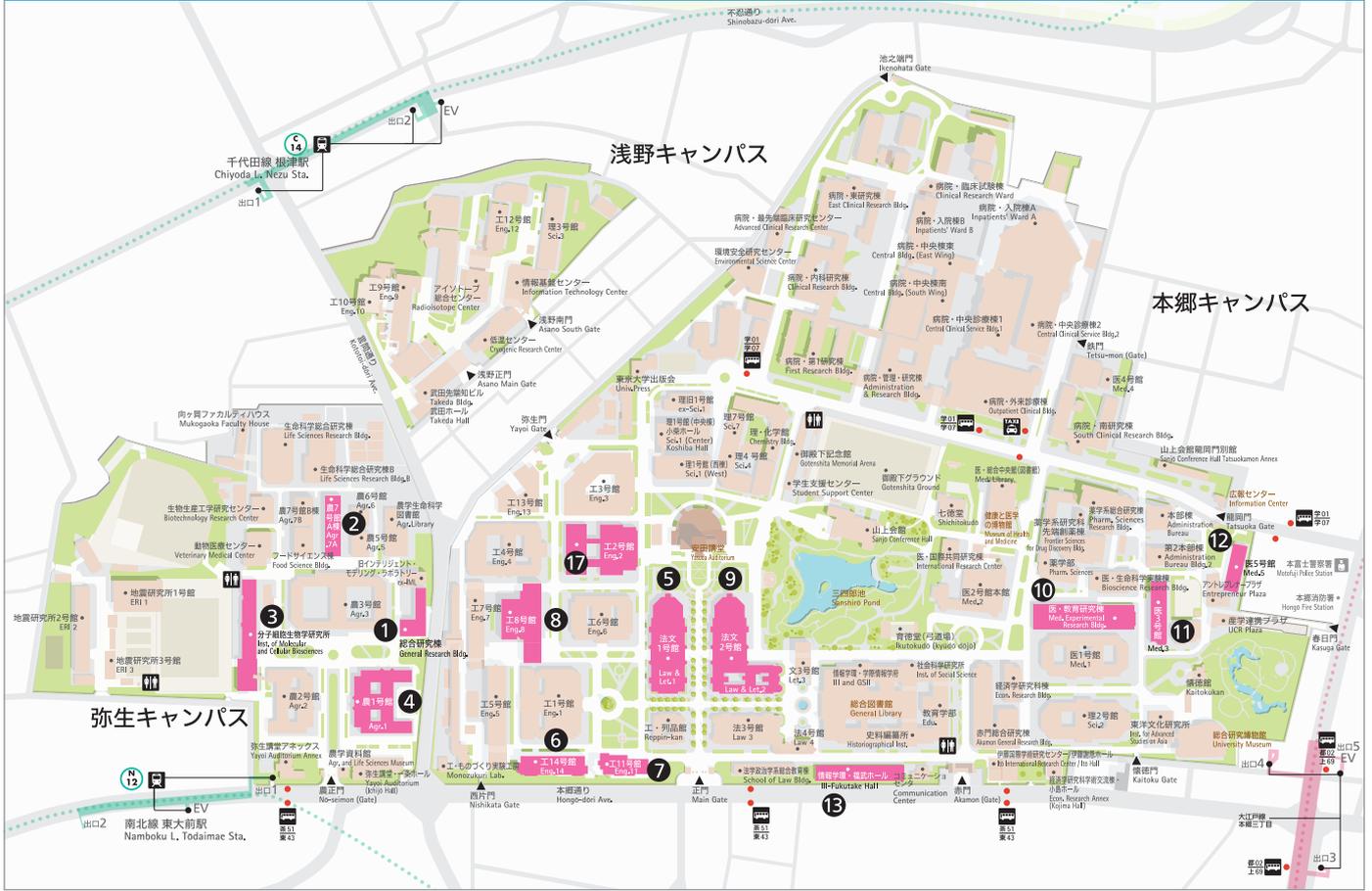
選択必修

選択

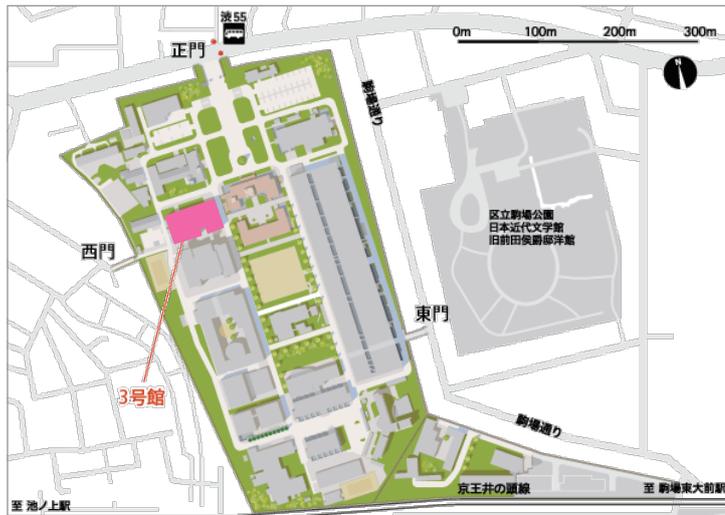
夏学期	1 限 08:30--10:15	2 限 10:25--12:10	3 限 13:00--14:45	4 限 14:55--16:40	5 限 16:50--18:35	6 限 18:45--20:30	7 限 20:40--22:25	
月								
火						食の科学ゼミナールII 農学部7号館A棟 114・115号室 3912149 ②	高齢社会総合研究学特論II 超高齢社会の住まい・まちづくり 工学部14号館141室 3799-223 ⑥	
水	基礎講義I 情報生命解析 教室:UT-mateを参照 47240-01					高齢社会総合研究学概論I 高齢者の体と心: 老いときあう 工学部11号館講堂 3799-220 ⑦		
木			高齢者在宅長期ケア看護学特論I 医学部5号館210号室 41721241		高齢社会総合研究学特論IV 高齢社会のケア・サポート・システム 工学部8号館722号室 3799-225 ⑧			
金	システム生物学 教室:UT-mateを参照 47240-35				先端バリアフリー論 先端研3号館2階207号室 3788-063 ⑭	食の科学ゼミナールI 農学部1号館2階8番講義室 3912148 ④		
土	高齢社会総合研究学 演習I 工学部8号館 701・702・722号室 ⑧ 工学部11号館講堂 ⑦・その他 3799-250		高齢社会総合研究学 演習III・V・VII・IX 工学部8号館 701・702・722号室 ⑧ 工学部11号館講堂 ⑦・その他 3799-252、3799-254、3799-256、3799-258					

冬学期	1 限 08:30--10:15	2 限 10:25--12:10	3 限 13:00--14:45	4 限 14:55--16:40	5 限 16:50--18:35	6 限 18:45--20:30	7 限 20:40--22:25	
月						老年看護学特論II 医学部3号館N101号室 41721282 ⑪		
火		実定法特殊研究 社会保障法概説 法文1号館21番教室 25-302-48 ⑤	文化情報継承論 工学部2号館9階93B室 4990120 ⑰		高齢社会総合研究学特論XVII 生殖・発達・加齢医学入門 医学部教育研究棟13階 第6セミナー室 3799-266 ⑩	高齢社会総合研究学特論IX 高齢者の食と健康(維持) 工学部8号館722号室 3799-230 ⑧		
水	行政看護学特論 医学部5号館109号室 41421351 ⑫					高齢社会総合研究学概論II 高齢社会のR・デザイン 工学部11号館講堂 3799-221 ⑦		
木			緩和ケア看護学特論II 医学部5号館210号室 41041124 高齢者在宅長期ケア看護学特論II 医学部5号館210号室 41721232 ⑫		高齢社会総合研究学特論VIII 高齢社会の人文・社会科学 法文1号館115号室 3799-229 ⑤	食の科学ゼミナールI 農学部1号館2階8番講義室 3912148 ④		
金		高齢社会総合研究学特論VI 高齢者法 工学部8号館722号室 3799-227 ⑧			高齢社会総合研究学特論X ジェロントクノロジー 工学部11号館講堂 3799-231 ⑦			
土	高齢社会総合研究学 演習II 工学部8号館 701・702・722号室 ⑧ 工学部11号館講堂 ⑦・その他 3799-251		高齢社会総合研究学 演習IV・VI・VIII・X 工学部8号館 701・702・722号室 ⑧ 工学部11号館講堂 ⑦・その他 3799-253、3799-255、3799-257、3799-259					

キャンパスマップ



- ① 総合研究棟
- ② 農7号館 A棟
- ③ 分子細胞生物学研究所
- ④ 農1号館
- ⑤ 法文1
- ⑥ 工14
- ⑦ 工11
- ⑧ 工8
- ⑨ 法文2
- ⑩ 医・教育研究棟
- ⑪ 医3号館
- ⑫ 医5号館
- ⑬ 情報学環
- ⑭ 先端研3号館



⑭ 先端研3号館

東京大学キャンパスマップ
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/index_j.html



⑮ 新領域生命棟



⑯ 医科学研究所2号館

科目名: 高齢社会総合研究学概論 I (高齢者の体と心: 老いとつきあう)

1 授業概要

わが国では、団塊世代の高齢化と出生率の低下により、今から 13 年後の 2030 年には 65 歳以上の高齢者が人口の約 1/3 を占め、75 歳以上の「後期高齢者」も倍増して人口の約 1/5 を占める超高齢社会が到来する。また、韓国、シンガポールも、日本にやや遅れて 2040 年には高齢者人口が 1/3 を超え、中国でも 2060 年には高齢者人口が約 1/3 に達することが予測されている。こうした急激な人口構成の変化に対応し、医療、介護、社会保障、居住環境、社会的インフラ、就業形態をはじめとした社会システムを組み替える必要性が目前に迫っている。この社会全体の変化を見通し、超高齢社会にむけて社会システムをリ・デザインする取り組みを直ちに開始し、若い人、現役世代、高齢者の誰もが、人間としての尊厳と生きる喜びを享受しながら快活に生きて行ける、活力ある超高齢社会の実現に向けて挑戦していかなければならない。

本授業ではこれらの課題に対して、主として高齢者の体と心について、国内のトップ講師からの講義を受け、老いとつきあうとはどういうことであるのか、その基礎を分野横断的に学ぶことが狙いである。本講義を通じて、高齢者の健康寿命を延ばし、経済活動・地域活動への参加を促すことによって高齢者が快活に暮らし、社会の支え手となって活躍する活力ある超高齢社会について考えていく。

2 授業内容

- (1) 学期: 夏学期
- (2) 単位数: 2 単位
- (3) 時限: 水曜 6 限 (18:45~20:30)
- (4) 評価方法: 出席状況及び学期末のレポート提出
- (5) 責任教員: 大方潤一郎
- (6) 教室: 本郷キャンパス 工学部 11 号館講堂 (6/28 と 7/5 のみ、工学部 3 号館 31 号講義室)

3 授業日程

- | | | |
|------|--------|--|
| 4/12 | 第 1 回 | なぜ老いる？ならば上手に老いるには？(飯島 勝矢: 高齢社会総合研究機構) |
| 4/19 | 第 2 回 | 疾病・障害とヘルスプロモーション(秋下 雅弘: 医学系研究科) |
| 4/26 | 第 3 回 | ジェロントロジー: 長寿社会を支える学際科学(秋山 弘子: 高齢社会総合研究機構) |
| 5/10 | 第 4 回 | 高齢者と看護学(山本 則子: 医学系研究科) |
| 5/17 | 第 5 回 | 知的機能の変化と適応(高山 緑: 慶応義塾大学) |
| 5/24 | 第 6 回 | シニアの学ぶ、働く、遊ぶ(牧野 篤: 教育学研究科) |
| 5/31 | 第 7 回 | 栄養とエイジング(阿部 啓子: 農学生命科学研究科) |
| 6/7 | 第 8 回 | ケアの当事者学(上野 千鶴子: NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)) |
| 6/14 | 第 9 回 | 身体機能を補う福祉工学機器(伊福部 達: 東京大学名誉教授) |
| 6/21 | 第 10 回 | 老化と生物学(孫 輔卿: 高齢社会総合研究機構) |
| 6/28 | 第 11 回 | 高齢期の社会関係(菅原 育子: 高齢社会総合研究機構) |
| 7/5 | 第 12 回 | 人生の最終段階のケア(会田 薫子: 人文社会系研究科) |
| 7/12 | 第 13 回 | 高齢者のライフスタイルの変化(前田 信彦: 立命館大学) |

4 その他

5 月 3 日(水)は、休講となります。

科目名:高齢社会総合研究学概論Ⅱ(高齢社会のリ・デザイン)

1 授業概要

わが国では、団塊世代の高齢化と出生率の低下により、今から13年後の2030年には65歳以上の高齢者が人口の約1/3を占め、75歳以上の「後期高齢者」も倍増して人口の約1/5を占める超高齢社会が到来する。また、韓国、シンガポールも、日本にやや遅れて2040年には高齢者人口が1/3を超え、中国でも2060年には高齢者人口が約1/3に達することが予測されている。こうした急激な人口構成の変化に対応し、医療、介護、社会保障、居住環境、社会的インフラ、就業形態をはじめとした社会システムを組み替える必要性が目前に迫っている。この社会全体の変化を見通し、超高齢社会にむけて社会システムをリ・デザインする取り組みを直ちに開始し、若い人、現役世代、高齢者の誰もが、人間としての尊厳と生きる喜びを享受しながら快活に生きて行ける、活力ある超高齢社会の実現に向けて挑戦していかねばならない。

本授業ではこれらの課題に対して、主として社会システムおよび、それを支える居住環境システムについて、国内のトップ講師からの講義を受け、高齢社会のリ・デザインについて分野横断的に学ぶことが狙いである。本講義を通じて活動レベルが低下して介助が必要になった後も、施設収容により対応するのではなく、住み慣れた地域社会の中で、できるだけ自立的に活力を維持しながら暮らせる社会システム及び居住環境システムについて考える。

2 授業内容

- (1) 学期:冬学期
- (2) 単位数:2単位
- (3) 時限:水曜6限(18:45~20:30)
- (4) 評価方法:出席状況及び学期末のレポート提出
- (5) 責任教員:大方潤一郎
- (6) 教室:本郷キャンパス 工学部11号館講堂

3 授業日程

- | | | |
|-------|------|---|
| 10/4 | 第1回 | 活力ある超高齢社会の構想と共創 (大方 潤一郎:工学系研究科) |
| 10/11 | 第2回 | 高齢化の人口学 (白波瀬 佐和子:人文社会系研究科) |
| 10/18 | 第3回 | 自己決定と本人保護 (朴 孝淑:高齢社会総合研究機構) |
| 10/25 | 第4回 | 年齢に基づく雇用システムと高齢者雇用 (濱口 桂一郎:労働政策研究・研修機構) |
| 11/1 | 第5回 | 人口減少社会における年金と社会保障財政 (岩本 康志:経済学研究科) |
| 11/8 | 第6回 | 高齢者の移動を支える (鎌田 実:新領域創成科学研究科) |
| 11/15 | 第7回 | 高齢期の住まい方 (大月 敏雄:工学系研究科) |
| 11/22 | 第8回 | 高齢期の健康づくり:公衆衛生学の視点から (村山 洋史:高齢社会総合研究機構) |
| 11/29 | 第9回 | 小規模多機能型居宅介護 (柴田 範子:NPO 法人楽) |
| 12/6 | 第10回 | 21世紀の医療・介護・福祉のかたちを考える (辻 哲夫:高齢社会総合研究機構) |
| 12/13 | 第11回 | シニア×ICT (廣瀬 通孝:情報理工学系研究科) |
| 1/10 | 第12回 | 地域包括ケアシステムの地域実装(1) (後藤 純:高齢社会総合研究機構) |
| 1/17 | 第13回 | 地域包括ケアシステムの地域実装(2) (橋本 俊明:高齢者住宅研究所) |

科目名: 高齢社会総合研究学特論 I (高齢社会を支える諸制度)

1 授業概要

未定

2 授業内容

- (1) 学期: 冬学期
- (2) 単位数: 2 単位
- (3) 時限: 未定
- (4) 評価方法: 未定
- (5) 責任教員: 大方潤一郎
- (6) 教室: 未定

3 授業日程

○/○	第 1 回	未定
○/○	第 2 回	未定
○/○	第 3 回	未定
○/○	第 4 回	未定
○/○	第 5 回	未定
○/○	第 6 回	未定
○/○	第 7 回	未定
○/○	第 8 回	未定
○/○	第 9 回	未定
○/○	第 10 回	未定
○/○	第 11 回	未定
○/○	第 12 回	未定

科目名:高齢社会総合研究学特論Ⅱ(超高齢社会の住まい・まちづくり)

1 授業概要

超高齢社会の諸課題に対応した地域社会の物的・社会的な生活環境について、多面的に講義を行う。

2 授業内容

- (1) 学期:夏学期
- (2) 単位数:2単位
- (3) 時限:火曜 6・7 限(18:45~22:25)
- (4) 評価方法:出席日数及び課題レポートにより総合的に評価する。
- (5) 責任教員:大方潤一郎
- (6) 教室:本郷キャンパス 工学部 14 号館 141 室

3 授業日程

4月 4日:総論 都市と計画

【第1・2回】高齢社会対応の住まいとまちづくり (大方潤一郎/東京大学 教授)

4月 11日:交通とまちづくり

【第3回】 高齢社会と交通 (原田昇/東京大学 教授)

【第4回】 高齢者の移動とまちづくり (大森宣暁/宇都宮大学 教授)

4月 18日:バリアフリー環境とまちづくり

【第5回】 バリアフリーのまちづくり (高橋儀平/東洋大学 教授)

【第6回】 弱視者にとってのバリアフリー (松田雄二/東京大学 准教授)

4月 25日:地域に住む

【第7回】 高齢者の住まいの建築・福祉制度における体系1 (田中紀之/東京大学 特任研究員)

【第8回】 高齢者の住まいの建築・福祉制度における体系2 (後藤純/東京大学 特任講師)

5月 9日:高齢者の住まい

【第9回】 高齢社会の住まいー近居ー (大月敏雄/東京大学 教授)

【第10回】 高齢社会と地域循環居住 (大月敏雄/東京大学 教授)

5月 16日:高齢者の転倒と住まい

【第11回】 住まいの日常災害と高齢者 (直井英雄/東京理科大学 名誉教授)

【第12回】 高齢者の転倒と住まい (西野亜希子/東京大学 特任助教)

5月 23日:高齢者の転倒

【第13・14回】 弱った高齢者の住まい (西野亜希子/東京大学 特任助教)

5月 30日:まちづくり

【第15・16回】 地域配置論 (後藤純/東京大学 特任講師)

4 その他

- ・まちづくり大学院、都市工学と共同で開講する。
- ・講師は変更の可能性があります。

科目名: 高齢社会総合研究学特論Ⅳ(高齢社会のケア・サポート・システム)

1 授業概要

本科目では、超高齢社会で要介護状態になっても住み慣れた地域で住み続けられるシステムを構築していくため、高齢者の特性や生活を理解し、体系的に高齢社会における高齢者へのケア・サポート・システムを学ぶ。

本講義は高齢者の医学的な特徴、その特徴を踏まえたケア・サポート、そして高齢者を支える医療・介護を中心とした社会システムについて、最新の知識や技術を理解し、実社会に役立つ手法を考える。

2 授業内容

- (1) 学期: 夏学期 (S2)
- (2) 単位数: 2単位
- (3) 時限: 木曜 5-6 限 (16:50~20:30)
- (4) 評価方法: 出席日数及び課題レポートの内容により総合的に評価するが、出席を重視する。
- (5) 責任教員: 秋下雅弘(東京大学大学院医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻 教授)
- (6) 教室: 本郷キャンパス 工学部 8 号館 722 号室

3 授業日程

6/8	第1回	超高齢社会に求められるケア・サポート・システム (飯島 勝矢: 高齢社会総合研究機構)
6/8	第2回	自治体と医師会の一体的な地域包括ケアシステムの推進 (飯島 勝矢: 高齢社会総合研究機構 / 稻荷田 修一: 柏市保健福祉部地域医療推進室 / 古田 達之: 柏市医師会)
6/15	第3回	医療制度改革と地域包括ケアシステム (宮島 俊彦: 前内閣官房社会保障改革担当室)
6/15	第4回	地域連携と地域アセスメント (成瀬 昂: 医学系研究科健康科学・看護学専攻)
6/22	第5回	高齢者医療の考え方 (小島 太郎: 医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻)
6/22	第6回	老年症候群 (小川 純人: 医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻)
6/29	第7回	地域包括ケアシステムの理論 (筒井 孝子: 兵庫県立大学大学院経営研究科)
6/29	第8回	認知症の理解 (亀山 祐美: 医学系研究科生殖・発達・加齢医学専攻)
7/6	第9回	認知症ケアの最前線 (永田 久美子: 認知症介護研究・研修東京センター研究部)
7/6	第10回	訪問看護と地域包括ケア (秋山 正子: 白十字訪問看護ステーション)
7/13	第11回	高齢者のケアとサービス: 状態別の理解 (野口 麻衣子: 医学系研究科健康科学・看護学専攻)
7/13	第12回	在宅医療を推進する新たな地域包括ケアシステム (太田 秀樹: 医療法人アスミス)

科目名:高齢社会総合研究学特論VI(高齢者法)

1 授業概要

高齢者に関わる法制度や政策課題についてオムニバス形式での講義およびディスカッションを行う。

2 授業内容

- (1) 学期:冬学期
- (2) 単位数:2単位
- (3) 時限:金曜2限(10:25~12:10)
- (4) 評価方法:未定
- (5) 責任教員:樋口範雄・松井孝太
- (6) 教室:本郷キャンパス 工学部8号館722号室

3 授業日程

- 第1回 高齢者法の概要と倫理的配慮
- 第2回 医療上の決定
- 第3回 在宅での医療
- 第4回 高齢者への医療給付制度・介護保険制度など
- 第5回 高齢者の住まい、特養・療養施設など
- 第6回 高齢者の住宅問題
- 第7回 成年後見と成年後見に代わる制度
- 第8回 財産管理と信託・相続
- 第9回 年金など経済的基盤
- 第10回 高齢者と職業・社会参加
- 第11回 情報化の進展と高齢者
- 第12回 高齢者と移動 交通
- 第13回 高齢者虐待・高齢者と犯罪

4 その他

初回は、9月29日(金)を予定。

科目名:高齢社会総合研究学特論Ⅷ(高齢社会の人文学・社会科学)

1 授業概要

高齢社会・超高齢社会における人口構造、社会構造、社会政策、ライフコース、生涯学習などについて、人文学および社会科学的なアプローチにより、活力ある超高齢社会を研究するうえでの基本的な知識を得ることを目標とする。

2 授業内容

- (1) 学期:冬学期(A1 A2)
- (2) 単位数:2 単位
- (3) 時限:木曜 5 限(16:50~18:35)
- (4) 評価方法:レポートもしくは平常点による。
- (5) 責任教員:武川正吾(人文社会系研究科社会文化研究専攻 教授)
- (6) 教室:本郷キャンパス 法文 1 号館 115 号室

3 授業日程

- | | | |
|-------|--------|---------------------------------------|
| 9/28 | 第 1 回 | 生涯学習が課題化される社会(牧野 篤:教育学研究科) |
| 10/5 | 第 2 回 | 人口高齢化の社会的意味(白波瀬 佐和子:人文社会系研究科) |
| 10/12 | 第 3 回 | 高齢化の国際比較(大泉 啓一郎:日本総合研究所) |
| 10/19 | 第 4 回 | 高齢期の就労・労働市場(福井 康貴:名古屋大学) |
| 10/26 | 第 5 回 | 高齢者に対する人生の最終段階のケア(清水 哲郎:人文社会系研究科) |
| 11/2 | 第 6 回 | 長寿時代のエンドオブライフ・ケア(会田 薫子:人文社会系研究科) |
| 11/9 | 第 7 回 | ソーシャル・サポート再考(中田 知生:北星学園大学) |
| 11/16 | 第 8 回 | 臨床心理学の視点(高橋 美保:教育学研究科) |
| 11/30 | 第 9 回 | 長寿社会に生きる(秋山 弘子:高齢社会総合研究機構) |
| 12/7 | 第 10 回 | 高齢者の長寿要因と認知機能(権藤 恭之:大阪大学) |
| 12/14 | 第 11 回 | 高齢社会の社会政策(武川 正吾:人文社会系研究科) |
| 12/21 | 第 12 回 | グローバル化とケアの標準化(小川 全夫:公益財団法人福岡アジア都市研究所) |
| 1/11 | 第 13 回 | 認知症ケアの社会学(井口 高志:奈良女子大学) |

科目名: 高齢社会総合研究学特論Ⅸ(高齢者の食と健康(維持))

1 授業概要

超高齢化を目前にして、いつまでも自立して自分らしく生きる為に、より早期からの健康維持～虚弱予防が重要な鍵となる。そこには本人自身の意識変容・行動変容と良好な社会環境の実現の両面が必要であり、高齢者の様々なプロダクティビティの増進が期待される。そこで、本講義では虚弱(フレイル: Frailty)の最たる要因である加齢性筋肉減少症(サルコペニア)を予防する為に、『食』を中心に据えた高齢期に置ける早期からの健康維持を包括的な視点から、その予防対策に関する最新知識を学ぶ。

2 授業内容

- (1) 学期: 冬学期
- (2) 単位数: 2 単位
- (3) 時限: 火曜 5-6 限(5 限 16:50~18:35, 6 限 18:45~20:30)
- (4) 評価方法: 出席及びレポート
- (5) 責任教員: 飯島 勝矢(高齢社会総合研究機構)
- (6) 教室: 本郷キャンパス 工学部 8 号館 722 号室

3 授業日程

- | | | |
|-------|------|---|
| 11/7 | 第1回 | フレイル(虚弱)予防 –健康寿命延伸を実現するための新概念–
飯島 勝矢(高齢社会総合研究機構) |
| | 第2回 | フレイル予防はまさに「総合知によるまちづくり」 –住民の食べる力を向上するために–
飯島 勝矢(高齢社会総合研究機構) |
| 11/14 | 第3回 | 高齢期における歯科口腔機能の重要性
平野 浩彦(東京都健康長寿医療センター研究所) |
| | 第4回 | 「食の楽しみ」という原点から介入する高齢者の食育
川口 美喜子(大妻女子大学) |
| 11/28 | 第5回 | 「口から食べる幸せ」をサポートするための包括的スキル
小山 珠美(NPO 法人口から食べる幸せを守る会 理事長) |
| | 第6回 | 終末期を飾る「人生のエンディング食」
下平 庄吾(飯塚病院緩和ケア病棟 シェフ) 柏木 秀行(飯塚病院緩和ケア科 医師) |
| 12/5 | 第7回 | 栄養研究から見た日本人の栄養摂取
調整中 |
| | 第8回 | 高齢期における身体活動と運動習慣
宮地 元彦(国立健康・栄養研究所) |
| 12/12 | 第9回 | 食べることの意義と今後の食育のあり方
田中 弥生(駒沢女子大学) |
| | 第10回 | 民間企業が高齢者の「食」をどう守るのか
民間企業 数社 |
| 12/19 | 第11回 | 超高齢になるまでの食習慣
潮 秀樹(農学生命科学研究科水圏生物学専攻) 企業 |
| | 第12回 | 「食」の現状, 「食」の将来
潮 秀樹(農学生命科学研究科水圏生物学専攻)、企業 |

科目名:高齢社会総合研究学特論 X (ジェロンテクノロジー)

1 授業概要

ジェロンテクノロジー(Gerontechnology)とは、高齢者を支援するためのシステムを扱う研究分野である。本科目では、高齢者の生活や社会活動などを支援するための情報・機械システムについて、オムニバス形式で講義を行う。本講義の内容は次の通りである。

- ・衰えた運動器・感覚器の機能補助を行うための運動支援・認知機能支援システム
- ・日進月歩での発展が著しい情報機器を用いた支援手法と、それら機器の使用の支援手法
- ・高齢者就労など社会的課題に対応するための仕組みとシステム

2 授業内容

- (1) 学期:冬学期
- (2) 単位数:2単位
- (3) 時限:金曜 5-6限
- (4) 評価方法:出席とレポート
- (5) 責任教員:鎌田 実(新領域創成科学研究科 教授), 檜山 敦(情報理工学系研究科 特任講師)
- (6) 教室:本郷キャンパス 工学部 11号館 講堂

3 授業日程

- 10月(第1-4回)【ジェロンテクノロジー概説, 元気高齢者のための支援方法, 高齢者支援技術と社会】
- 10/06(金) 第1回 5限:感覚・コミュニケーションを支援する福祉工学
(伊福部 達 北海道大学・東京大学 名誉教授, 北海道科学大学 特命教授)
6限:高齢者就労におけるICTの役割
(廣瀬 通孝 情報理工学系研究科 教授)
- 10/13(金) 第2回 5限:元気高齢者のための新しい社会参画技術
(小林 正朋 IBM 東京基礎研究所 アクセシビリティ・リサーチ担当)
6限:高齢者の遠隔就労・社会参加とテレプレゼンス技術
(檜山 敦 先端科学技術研究センター 講師)
- 10/20(金) 第3回 5限:高齢者支援機器と事業モデル・技術とニーズ、政策、社会をつなぐ
(後藤 芳一 日本福祉大学 客員教授)
6限:アクティブシニアのICT活用とユニバーサルデザイン
(関根 千佳 同志社大学 教授, 株式会社ユーディット 会長兼シニアフェロー)
- 10/27(金) 第4回 5限:高齢者の農作業のための軽労化支援スツ
(田中 孝之 北海道大学 情報科学研究科 准教授)
6限:高齢者の支援技術における国内外の動向
(井上 剛伸 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部長)
- 11月(第5-8回)【フレイル/要支援・要介護の高齢者のための支援技術】
- 11/10(金) 第5回 5限:高齢者のための福祉・リハビリテーション工学
(田中 敏明 高齢社会総合研究機構 特任教授)
6限:臨床現場におけるリハビリ工学の実際
(吉田 直樹 リハビリテーション科学総合研究所 主任研究員,
関西リハビリテーション病院リハビリテーション・エンジニア)
- 11/17(金) 第6回 5限:認知症高齢者の情報支援
(二瓶 美里 新領域創成科学研究科 講師)
6限:高齢社会のモビリティ構築に向けて
(鎌田 実 新領域創成科学研究科 教授)
- 11/24(金) 第7回 5限:福祉機器実用化における課題 ~福祉ロボットなどの実例からわかること
(手嶋 教之 立命館大学 理工学部 ロボティクス学科 教授)
6限:人型セラピーロボット最前線
(西尾 修一 国際電気通信基礎技術研究所 石黒浩特別研究所 主幹研究員)
- 12/01(金) 第8回 5限:高齢者の行動計測・見守りモニタリング
(森 武俊 医学系研究科 特任教授)
6限:医療・介護・健康分野で期待されるサービスロボティクス
(浅間 一 工学系研究科 教授)

科目名:実定法特殊研究(社会保障法概説)

1 授業概要

わが国の社会保障法の概要を理解することを目的とする。|社会保障法の範囲は広範にわたるため、15回の講義で取り扱うことのできるテーマは自ずと限定せざるを得ないものの、社会保障法全体にわたる総論的なテーマを最初の数回にわたって取り上げた後、年金、社会手当、労働保険(労災補償・雇用保険)、公的扶助(生活保護)、医療保障、社会サービス保障(高齢者・障害者・児童分野)といった個別分野について広く取り上げることを目指す。|社会保障法は、実定法の中でも、国民の生活にきわめて密着した分野である。20世紀福祉国家の限界を踏まえた21世紀福祉社会の構想にあたって、社会保障法の知識は極めて有益な示唆を与え得る。少子化・高齢化、格差社会、貧困といった社会的諸問題への法学的検討に向けた視座を提供したい。

2 授業内容

- (1) 学期:冬学期(A1 A2)
- (2) 単位数:2単位
- (3) 時限:火曜2限(10:25~12:10)
- (4) 評価方法:期末試験の成績で評価する
- (5) 責任教員:菊池 馨美
- (6) 教室:本郷キャンパス 法文1号館21番教室

3 授業日程

I 総論

- ①社会保障総論(社会保障の概念・保障方法・保障水準、費用負担など)
- ②社会保障法総論(社会保障と憲法、社会保障受給権、社会保障の法理念など)

II 各論

- ①年金(公的年金、企業年金)
- ②社会手当(児童手当など)
- ③労働保険(労災補償、雇用保険)
- ④公的扶助(生活保護、生活困窮者支援・求職者支援)
- ⑤医療保障(医療提供体制、医療保険)
- ⑥社会サービス保障(社会福祉総論、介護保険、障害者法制、児童福祉・子育て支援)

4 その他

・教科書:菊池馨美『社会保障法』(有斐閣、2014年)

・授業の方法:講義形式で行う。基本的には教科書の叙述に沿って解説しながら、適宜資料を配布し、社会保障法をめぐる最新の諸問題についても切り込んでいく。

・履修上の注意:単に制度を叙述する社会保障「論」にとどまらない実定法科目としての内容を含んでいる点につき、履修者には留意してほしい。

科目名:文化情報継承論

1 授業概要

本講義の目的は、情報技術と文化芸術の融合領域にまつわる様々な学術的話題を、ミュージアムという切り口を通じて構造化していこうというものである。

ミュージアムとは、過去の人々の蓄積した知恵を、ものの集積を通じて、未来の世代に長い時間を超えて伝達するための仕組みである。この種の議論は今後の社会の高齢化も伴い、これまで以上の重要性を持つようになると思われる。この講義では、ミュージアムという情報技術が何をなし得るか、特に情報技術でなければならないこととは何かから説き起こし、結果として関連するであろう技術のアウトラインについて概説し、いわゆるミーム(文化的遺伝子)系技術のような形で整理してみたい。

さらに、これらの技術を活用し、具体的な展示コンテンツを想像する上で必要となる知識についても具体的事例を交えつつ講義したいと思っている。

2 授業内容

- (1) 学期:冬学期(A1A2)
- (2) 単位数:2単位
- (3) 時限:火曜3限(13:00~14:45)
- (4) 評価方法:授業中に指示する
- (5) 責任教員:廣瀬 通孝(情報理工学系研究科 教授)
谷川 智洋(情報理工学系研究科 特任准教授)
鳴海 拓志(情報理工学系研究科 講師)
- (6) 教室:本郷キャンパス 工学部2号館9階 93B 講義室

3 授業日程

開講日

09/26(火) または、10/03(火)

科目名:食の科学ゼミナール I

1 授業概要

食の安全、健康問題をめぐる最新の研究動向を学際的に学ぶ。高齢社会における食問題とその解決に向けた取り組みについても取り上げる。

[ゼミナールの狙い]

- ・自分の専門以外の知識を獲得する
- ・多角的なモノの見方を学ぶ
- ・所属する専攻・課程以外の院生学生と交流する
- ・大学を超えたネットワークを形成する

2 授業内容

- (1) 学期:S1・A1
- (2) 単位数:2単位
- (3) 時限:木曜 6限(18:45~20:30)
- (4) 評価方法:出席とレポートの内容を総合的に評価する。
- (5) 責任教員:中嶋康博(東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)
- (6) 教室:弥生キャンパス 農学部1号館2階8番講義室

3 授業日程

授業ガイダンスを4月13日(木)18:45 から農学部1号館8番講義室で行います。

授業の詳細については、以下のHPも参照のこと。<http://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp/wp/fg1/>

科目名:食の科学ゼミナールⅡ

1 授業概要

食品のリスク管理や、高齢食を含む食品の新製品開発に関する制度、組織、実務及び研究の実際を学ぶ。
SP 期間中には企業において現地実習を行う。

2 授業内容

- (1) 学期: S1+SP
- (2) 単位数: 1 単位
- (3) 時限: 火曜 6 限 (18:45~20:30)
- (4) 評価方法: 出席および毎回のレポートにより総合評価
- (5) 責任教員: 中嶋康博 (東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)
- (6) 教室: 弥生キャンパス 農学部 7 号館 A 棟 114・115 号室

3 授業日程

授業ガイダンスを4月11日(火)18:45から農学部1号館8番講義室で行います。
授業の詳細については、以下のHPも参照のこと。<http://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp/wp/fg1/>

科目名:行政看護学特論

1 授業概要

健康政策や公衆衛生看護実践に関わる倫理的問題を議論する能力を養うとともに、事業化・施策化やリーダーシップに関する実践的能力を養うことを目的とする。具体的には、専門的知識を学び、批判的思考力を養うため課題やディスカッションに取り組む。

2 授業内容

- (1) 学期:冬学期(A1 A2)
- (2) 単位数:2 単位
- (3) 時限:水曜 1-2 限(8:30~12:10)
- (4) 評価方法:出席、発表・討議、レポートにより評価する
- (5) 責任教員:成瀬昂
- (6) 教室:本郷キャンパス 医学部 5 号館 109 号室

3 授業日程

- | | | |
|---|--------|-----------------------|
| 1 | 9月13日 | 公衆衛生看護と公共論 |
| 2 | 9月20日 | 公衆衛生看護における倫理:理論 |
| 3 | 9月27日 | 行政機関における健康政策:施策化、評価 |
| 4 | 10月4日 | 行政制度と保健師業務の関係 |
| 5 | 10月11日 | 行政保健師による事業化と施策化:実践 |
| 6 | 10月18日 | 行政保健師のリーダーシップと管理能力:理論 |
| 7 | 10月25日 | 行政機関で働く看護職の仕事と課題 |

4 その他

課題 1 : 初回までの事前課題 ①「その時歴史が動いた:細川一」を視聴
②「サンデルの政治哲学」第 1 講(p.39-95)を読む

参考書:川崎修・杉田敦編「現代政治理論」有斐閣アルマ, 2012

小林正弥著「サンデルの政治哲学<正義>とは何か」平凡社, 2010 保健師教育コース必須科目。

講義日程、講師は変更になる場合があるため注意すること。

受講希望者は成瀬(takanaruse-tky@umin.ac.jp)まで連絡すること。

科目名:緩和ケア看護学特論Ⅱ

1 授業概要

質的研究入門:
質的研究の方法について、グラウンデッド・セオリーを中心にして学ぶ。

2 授業内容

- (1) 学期:冬学期(A1 A2)
- (2) 単位数:2 単位
- (3) 時限:木曜 3-4 限(13:00~16:40)
- (4) 評価方法:出席, ディスカッションへの参加及び課題内容により統合的に評価する
- (5) 責任教員:山本則子
- (6) 教室:本郷キャンパス 医学部 5 号館 210 号室

3 授業日程

1	9 月 28 日	質的研究の歴史・定義・目的・意義・種類
2		グラウンデッド・セオリー法のプロセス
3		フィールドに入る際の注意・参与観察によるデータ収集
4		インタビューによるデータ収集 ①
5		インタビューによるデータ収集 ②
6		データ分析:コーディング ①
7		データ分析:コーディング ②
8		データ分析:メモをとること・図表を手がかりにすること
9		データ分析:カテゴリーの統合
10		データ分析:ストーリーを作る
11		厳密性の保証
12		論文の執筆
13		分析結果の発表と討議

4 その他

参考図書: Corbin J. & Strauss A. (2015). Basics of Qualitative Research: Techniques and Procedures for Developing Grounded Theory (4th Ed). Sage. など

受講希望者 9 月 28 日の初回ガイダンスに出席すること。

受講希望者は教室事務松本 etsukom-tky@umin.ac.jp までご一報ください。

※高齢者在宅長期ケア看護学特論Ⅱと同じ曜日・時間帯に開催する。週によって開講科目が異なるため、緩和ケア看護学特論Ⅱと高齢者在宅長期ケア看護学特論Ⅱの同時受講が可能である。

科目名:高齢者在宅長期ケア看護学特論Ⅱ

1 授業概要

長期ケア・訪問看護の質保証・向上研究の現状を理解し、今後の研究を展望する

2 授業内容

- (1) 学期:冬学期(A1 A2)
- (2) 単位数:2 単位
- (3) 時限:木曜 3-4 限(13:00~16:40)
- (4) 評価方法:出席, ディスカッションへの参加及び課題内容により統合的に評価する
- (5) 責任教員:山本則子
- (6) 教室:本郷キャンパス 医学部 5 号館 210 号室

3 授業日程

- | | | |
|----|-------|----------------------------------|
| 1 | 10月5日 | ガイダンス |
| 2 | | 療養病床におけるケアの質① |
| 3 | | 療養病床におけるケアの質② |
| 4 | | 長期ケアの質に関する文献の輪読① |
| 5 | | 在宅医療の質に関する講義 |
| 6 | | 長期ケアの質に関する文献の輪読② |
| 7 | | 在宅ケアにおけるケアの質 |
| 8 | | 長期ケアにおける Evidence Based Practice |
| 9 | | 長期ケアの質に関する文献の輪読③ |
| 10 | | 訪問看護におけるケアの質 |
| 11 | | 長期ケアの質に関する文献の輪読④ |
| 12 | | 医療療養病床におけるケアの質指標の開発と実践 |
| 13 | | 長期ケア・訪問看護におけるケアの質指標の開発と実践 |

4 その他

参考図書: Vincent Mor, Tiziana Leone, Anna Maresso. Regulating Long-Term Care Quality. Cambridge University Press, Cambridge, 2014. (予定)

受講希望者 10月5日の初回ガイダンスに出席すること。

受講希望者は教室事務松本 etsukom-tky@umin.ac.jp までご一報ください。

※緩和ケア看護学特論Ⅱと同じ曜日・時間帯に開催する。週によって開講科目が異なるため、緩和ケア看護学特論Ⅱと高齢者在宅長期ケア看護学特論Ⅱの同時受講が可能である。

科目名:高齢者在宅長期ケア看護学特論 I

1 授業概要

- ①長期ケア long-term care 及び在宅ケア home care 研究に必要な基本的知識・枠組みを習得する
- ②長期ケアの質保証・向上に向けた研究のあり方について検討する

2 授業内容

- (1) 学期:夏学期(S1 S2)
- (2) 単位数:2単位
- (3) 時限:木曜 3-4 限(13:00~16:40)
- (4) 評価方法:出席, ディスカッションへの参加及び課題内容により統合的に評価する
- (5) 責任教員:山本則子
- (6) 教室:本郷キャンパス 医学部 5号館 210号室

3 授業日程

- | | | |
|----|-------|----------------------------|
| 1 | 4月13日 | ガイダンス |
| 2 | | 海外における長期ケアの質保証・向上に関する研究の現状 |
| 3 | | 長期ケアに関する文献の輪読 ① |
| 4 | | 療養病床における医療の質指標開発と活用状況 |
| 5 | | 長期ケアに関する文献の輪読 ② |
| 6 | | 在宅ケアの質保証:マクロ分析 |
| 7 | | 長期ケアに関する文献の輪読 ③ |
| 8 | | 訪問看護の可視化:事業所のとらえ |
| 9 | | 長期ケアに関する文献の輪読 ④ |
| 10 | | 人生の最終段階におけるケアの質 |
| 11 | | 長期ケアに関する文献の輪読 ⑤ |
| 12 | | 長期ケアに関する文献の輪読 ⑥ |
| 13 | | まとめ:リサーチクエスションの設定 |

4 その他

参考図書: Graham D. Rowles, Pamela B. Teaster. Long-term care in aging society. Springer, New York, 2016.(予定)

受講希望者 4月13日の初回ガイダンスに出席すること。

受講希望者は教室事務松本 etsukom-ky@umin.ac.jp までご一報ください。

科目名:老年看護学特論Ⅱ

1 授業概要

高齢者人口の爆発的増加を控える現代社会においては、疾病の治療のみへの着眼では解決できない課題が山積している。本特論では、高齢者医療・看護を様々な視点、つまり生物機能の側面から、個体機能や社会機能の側面まで含んだ視点を各専門家から幅広く学び、今後の日本社会の在り方について各々が考察できるよう科学的思考を身につける。

2 授業内容

- (1) 学期:冬学期(A1)
- (2) 単位数:2単位
- (3) 時限:月曜 5-6 限(16:50~20:30)
- (4) 評価方法:出席、授業への参加態度とレポート
- (5) 責任教員:真田弘美
- (6) 教室:本郷キャンパス 医学部3号館 N101号室

3 授業日程

- | | | |
|---|-------|------------------------------|
| 1 | 9月25日 | 「救急医工学・片麻痺患者のリハビリテーション」 |
| 2 | | 「サルコペニア Up To Date」 |
| 3 | | 「認知症者の看護」 |
| 4 | | 「終末期を支える在宅医療」 |
| 5 | | 「慢性腎臓病患者に発生した褥瘡の治療、侵襲期の栄養管理」 |
| 6 | | 「最先端マイクロナノデバイス技術によるバイオ・医療研究」 |
| | | 他 |

4 その他

教科書及び参考書は別途指示します。

連絡教員:仲上豪二郎(医学部5号館, 内線 23451, gojiron-tky@umin.ac.jp)

科目名:医学概論

1 授業概要

近年の基礎医学のめざましい進展により、現代医療も著しい変貌を遂げつつある。東京大学医科学研究所附属病院の大きな使命は、先端医療の導入とその遂行、中でも基礎医学研究の成果を臨床に取り入れることである。即ち、探索型臨床研究(Translational Research)の推進である。本講義においては、non-M.D.の学生を対象にして、医学概論をわかりやすく解説するとともに、実際の症例や看護上の視点も交えながら、最先端の探索型臨床研究についての新たな視座を提供することを目的とする。

2 授業内容

- (1) 学期:夏学期(S1S2)
- (2) 単位数:1単位
- (3) 時限:集中(授業日程を参照)
- (4) 評価方法:集中講義終了後のレポート課題提出と出欠状況により成績を評価する。期末試験は行わない。
- (5) 責任教員:内丸薫(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 病態医療科学分野 教授)
松田浩一(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 クリニカルシーケンス分野 教授)
- (6) 教室:遠隔配信を行う。
柏:生命棟セミナー室1、白金台:医科研2号館大講義室、本郷:分生研本館2階会議室(206号室)

3 授業日程

5/19	第1回	1限	1. 医学の歴史と人体生理(四柳宏)
	第2回	2限	2. 栄養管理と指導について(畠山高年)
	第3回	3限	3. 薬物療法について(薬剤部長)
	第4回	4限	4. 外科学について(篠崎大)
5/25	第5回	1限	5. 看護について(小林康司)
	第6回	2限	6. 内科学について(内丸薫)
	第7回	3限	7. TRIについて(長村文孝)

4 その他

- (1) CBMSP修了証 修士・博士課程 認定科目(必修)。
 - (2) 「CBMS基礎演習 I (病院実習)(47243-01)」に参加するためには、この講義の単位を取得する必要がある。
 - (3) 平成24年度までに「医学概論および医療倫理(47210-20)」を単位取得した者は再履修出来ない。
 - (4) 連絡先:内線 75153 uchimaru@cbms.k.u-tokyo.ac.jp
- ※ 授業日程・内容などが変更されることがあるため、必要に応じて、UT-mate からシラバス情報を確認しておくこと。

科目名:研究倫理/医療倫理 I

1 授業概要

人の試料や被験者を要する研究を行う医科学研究者は、研究開始前に被験者保護に関する基礎的なトレーニングを受ける必要がある。この講義では、研究倫理と臨床倫理に関する歴史的な、また現代的な課題を取り扱う。受講後には、人を対象とした研究の倫理的な行動規範に関して議論ができるようになり、研究開始前にすべき手続きを理解できるようになっていることを目標とする。

2 授業内容

- (1) 学期:夏学期(S1S2)
- (2) 単位数:1単位
- (3) 時限:集中(授業日程を参照)
- (4) 評価方法:レポート、模擬倫理審査委員会への貢献により、総合的に評価する。
- (5) 責任教員:武藤香織(東京大学医科学研究所 教授・同研究倫理支援室 室長)
伊藤耕一(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 生命分子遺伝学分野 教授)
- (6) 教室:遠隔配信を行う。
柏:生命棟セミナー室1、白金台:医科研2号館大講義室、本郷分生研本館2階会議室(206号室)

3 授業日程

6/29	第1回	2限	1. 研究活動の公正性と科学者の行動規範(1)
	第2回	3限	2. 研究活動の公正性と科学者の行動規範(2)
	第3回	4限	3. 人を対象とした研究の歴史と規制
	第4回	5限	4. 人由来試料を用いる研究
7/6	第5回	3限	5. 患者の権利とインフォームド・コンセント
	第6回	4限	6. 模擬倫理審査委員会(1)
	第7回	5限	7. 模擬倫理審査委員会(2)

4 その他

- (1) 修士課程(1年)必修科目。また、博士後期課程からの入学者は履修しなければならない。
 - (2) MGSP 修了証 修士・博士課程 認定科目(必修)。
 - (3) 昨年度までに「医学概論および医療倫理(47210-20)」を単位取得した者は再履修出来ない。
 - (4) 連絡先:内線 72079 ppinfo@ims.u-tokyo.ac.jp
- ※ 授業日程・内容などが変更されることがあるため、必要に応じて、UT-mate からシラバス情報を確認しておくこと。

科目名:基礎演習 I (病院実習)

1 授業概要

実際に医療現場に入って医師をはじめとする医療従事者と直に接し、現代の医療を体験することを通じて、自らの研究の再確認、医療現場で基礎研究に求められていることを体得してもらえれば幸いである。

2 授業内容

- (1) 学期:通年
- (2) 単位数:1単位
- (3) 時限:集中(授業日程を参照)
- (4) 評価方法:出席
- (5) 責任教員:内丸薫(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 病態医療科学分野 教授)
松田浩一(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 クリニカルシーケンス分野 教授)
- (6) 教室:東京大学医科学研究所附属病院

3 授業日程:下記いずれかの期の実習を受講する。

10/16~20	第1期	
11/13~17	第2期	
12/18~22	第3期	
1/22~26	第4期	
2/5~9	第5期	
月	AM	「オリエンテーション」「内科診察法」
	PM	「HIV 感染症について」「検査部見学、糖尿病と動脈硬化」
火	AM	「血液グループ病棟回診見学」「輸血部見学」(半数)あるいは「内視鏡見学」(半数)
	PM	「放射線画像検査の原理と実際」「バイオバンク見学」「栄養管理室見学」
水	AM	「感染症グループ回診見学」
	PM	「生理機能検査実習」「手術室・中央材料部見学、麻酔・ME 機器・緩和ケア」「内視鏡室見学」
木	AM	「内視鏡見学」(半数)あるいは「血液グループ病棟見学説明」「輸血部見学」
	PM	「造血幹細胞移植について、臨床細胞工学室見学」「治療ベクター開発室説明」 「腹部超音波検査実習」
金	AM	「看護の実際」
	PM	「がん患者の在宅移行ケアの見学」「実習総括・意見交換(アンケートとレポート記入)」

4 その他

- (1) S1S2タームの「医学概論(27240-19)」および「研究倫理/医療倫理 I (47240-25)」を単位取得した者が履修出来る。また、実習開始時に「守秘義務誓約書」を提出することが実習参加の条件となる。
 - (2) MGSP 修了証 修士・博士課程 認定科目(必修)。
 - (3) 例年、10月・11月に希望が集中します。1月・2月の参加者を歓迎します。
 - (4) 連絡先:内線 75153 uchimaru@cbms.k.u-tokyo.ac.jp
- ※ 授業日程・内容などが変更されることがあるため、必要に応じて、UT-mate からシラバス情報を確認しておくこと。

科目名:基礎講義 I (情報生命解析)

1 授業概要

バイオインフォマティクスで扱われるアルゴリズム、すなわち、計算機を用いて生物学データを解析するための手続きや考え方を幅広く学ぶ。
 具体的なトピックは、全解探索、グリーディーアルゴリズム、動的計画法、分割統治法、グラフアルゴリズム、組み合わせパターンマッチング、クラスタリングと系統樹解析、隠れマルコフモデルなどである。

2 授業内容

- (1) 学期:夏学期(S1)
- (2) 単位数:2単位
- (3) 時限:水曜 1、2 限(8:30~12:10)
- (4) 評価方法:期末試験による。また、学生の理解状況に応じてレポートを出す可能性がある。
- (5) 責任教員:笠原雅弘(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 大規模バイオ情報解析分野 講師)
 岩崎渉(東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻 准教授)
 曲薇(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 バイオデータベース分野 特任講師)
- (6) 教室:遠隔配信を行う
 情報生命科学実験棟2F講義室、理学部3号館412号室、臨海副都心センター別館セミナー室

3 授業日程:現時点において、初回日以外は未定。授業タイトルは昨年度のものであり、変更される可能性がある。

4/5	第1回	1限	イントロ(笠原)
	第2回	2限	1, 2章:Introduction, Algorithms and Complexity(岩崎)
○/○	第3回	1限	4章:Exhaustive Search(曲)
	第4回	2限	5章:Greedy Search(曲)
○/○	第5回	1限	6章:Dynamic Programming (1)(曲)
	第6回	2限	6章:Dynamic Programming (2)(曲)
○/○	第7回	1限	演習と理解度確認(岩崎)
	第8回	2限	7章:Divide and Conquer(岩崎)
○/○	第9回	1限	8章:Graph Algorithms(岩崎)
	第10回	2限	9章:Combinatorial Pattern Matching(岩崎)
○/○	第11回	1限	10章:Clustering and Trees (1)(曲)
	第12回	2限	10章:Clustering and Trees (2)(曲)
○/○	第13回	1限	11章:Hidden Markov model and Randomized algorithms(岩崎)
	第14回	2限	テスト(岩崎・曲)

4 その他

※ 授業日程・内容などが変更されることがあるため、必要に応じて、UT-mate からシラバス情報を確認しておくこと。

科目名:基礎講義Ⅱ(細胞の生化学、遺伝情報発現の基礎)

1 授業概要

基礎生物学を医科学や医工学に実践的に応用するうえでの理解が必須となる、細胞内の基本的な生体高分子、ゲノムシステム、遺伝情報の発現に関する基本的な知識を学ぶ。

2 授業内容

- (1) 学期:夏学期(S1S2)
- (2) 単位数:2単位
- (3) 時限:集中(授業日程を参照)
- (4) 評価方法:最終日に理解度試験を行う。
- (5) 責任教員:伊藤耕一(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 生命分子遺伝学分野 教授)
 上田卓也(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 分子医科学分野 教授)
 富田耕造(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 RNA 生物学分野)
 富田野乃(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 分子医科学分野 准教授)
- (6) 教室:遠隔配信を行う。
 柏:生命棟セミナー室1、白金台:医科研2号館大講義室、本郷:分生研本館2階会議室(206号室)

3 授業日程

- | | | | |
|------|------|----|-----------------------------------|
| 5/11 | 第1回 | 2限 | 1. 細胞膜(上田卓也) |
| | 第2回 | 3限 | 2. 膜タンパク質(上田卓也) |
| | 第3回 | 4限 | 3. 膜の物質輸送(上田卓也) |
| | 第4回 | 5限 | 4. タンパク質の輸送と小胞輸送(上田卓也) |
| 5/12 | 第5回 | 2限 | 5. ゲノムとセントラルドグマ(伊藤耕一) |
| | 第6回 | 3限 | 6. バクテリアの RNA ポリメラーゼと転写制御(伊藤耕一) |
| | 第7回 | 4限 | 7. 真核生物の RNA ポリメラーゼと転写制御(伊藤耕一) |
| 5/18 | 第8回 | 2限 | 8. リボソームと翻訳(1)(富田野乃) |
| | 第9回 | 3限 | 9. リボソームと翻訳(2)(富田野乃) |
| | 第10回 | 4限 | 10. オルガネラの分子生物学(富田野乃) |
| 5/26 | 第11回 | 2限 | 11. RNA の機能発現(1)(富田耕造) |
| | 第12回 | 3限 | 12. RNA の機能発現(2)(富田耕造) |
| | 第13回 | 4限 | 13. RNA と高次生命現象(富田耕造) |
| | 第14回 | 5限 | 14. 総括・理解度確認試験(上田/伊藤/富田(野)/富田(耕)) |

4 その他

- (1) 旧専攻科目「MGS 基礎講義 I(47210-33)」の科目名称変更。同科目を履修した学生は本科目を履修出来ない。
 - (2) 連絡先:内線 63600 itokoichi@k.u-tokyo.ac.jp
- ※ 授業日程・内容などが変更されることがあるため、必要に応じて、UT-mate からシラバス情報を確認しておくこと。

科目名:基礎講義Ⅲ(細胞から個体に至るゲノム医科学の基礎)

1 授業概要

ゲノム解析の基礎情報をもとに、ヒト個体のさまざまな分子病態を、高次生命現象のシステム維持機構が破綻した表現形として理解するための基礎を解説し、個々の分子機能を多面的に統合して捉えることで高次生命現象を理解する視点を提供する。

2 授業内容

- (1) 学期:夏学期(S1S2)
- (2) 単位数:2単位
- (3) 時限:集中(授業日程を参照)
- (4) 評価方法:最終日に理解度試験を行う。
- (5) 責任教員:佐藤均(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 病態医科学分野 准教授)
菅野純夫(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 ゲノム制御医科学分野 教授)
松田浩一(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 クリニカルシーケンス分野 教授)
渡邊学(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 ゲノム制御医科学分野 准教授)
内丸薫(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 病態医療科学分野 教授)
- (6) 教室:遠隔配信を行う。
柏:生命棟セミナー室1、白金台:医科研2号館大講義室、本郷:分生研本館2階会議室(206号室)

3 授業日程

6/15	第1回	2限	1. 細胞分裂と染色体 (佐藤均)
	第2回	3限	2. 染色体異常と疾患 (佐藤均)
	第3回	4限	3. 再生医学とゲノム安定性 (佐藤均)
6/16	第4回	2限	4. 網羅的ゲノム解析と疾患原因の解明 (渡辺学)
	第5回	3限	5. 医学概論 1. 病気と診断 (内丸薫)
	第6回	4限	6. 医学概論 2. 病態と治療の概論 (内丸薫)
6/22	第7回	3限	7. ヒト個体の成り立ち (菅野純夫)
	第8回	4限	8. システムとしての個体 (菅野純夫)
	第9回	5限	9. 細胞から個体へ (菅野純夫)
6/30	第10回	2限	10. ヒト白血病ウイルスの分子生物学 (内丸薫)
	第11回	3限	11. ATL の分子病態解析と治療 (内丸薫)
	第12回	4限	12. 腫瘍学の基礎 (松田浩一)
7/13	第13回	5限	13. 腫瘍ウイルスとがん (松田浩一)
	第14回	2限	14. 個体を解析する技術 (菅野純夫)
	第15回	3限	15. 個体を制御する技術 (菅野純夫)
	第16回	4限	16. 理解度試験

4 その他

- (1) 旧専攻科目「MGS 基礎講義Ⅱ(27210-34)」の科目名称変更。同科目を履修した学生は本科目を履修出来ない。
 - (2) 連絡先:内線 75299 hitsatoh@ku-tokyo.ac.jp
- ※ 授業日程・内容などが変更されることがあるため、必要に応じて、UT-mate からシラバス情報を確認しておくこと。

科目名:システム生物学

1 授業概要

細胞の増殖や分化、発生、神経活動、魚の縞模様などのパターン形成などのさまざまな生命現象の特徴を、個々の分子や遺伝子が集まって機能する分子ネットワークの「システム」の振る舞いとして理解する。簡単な分子ネットワークの組み合わせでできる微分回路や積分回路、振動子、メモリ、時間・空間パターン形成などの振る舞いを、具体的な生命現象に照らし合わせながら講義する。

2 授業内容

- (1) 学期:夏学期(S2)
- (2) 単位数:1単位
- (3) 時限:金曜1限(8:30~10:15)
- (4) 評価方法:レポートと試験により総合的に評価する。
- (5) 責任教員:黒田真也(東京大学 理学系研究科 生物化学専攻 教授)
- (6) 教室:遠隔配信を行う。
情報生命科学実験棟2F 講義室、理学部3号館412号室、臨海副都心センター別館セミナー室

3 授業日程:現時点において、初回日以外は未定。授業タイトルは昨年度のものであり、変更される可能性がある。

6/9	第1回	1限 【1】フィードフォワード(1) 微分積分回路と細胞運命決定
○/○	第2回	1限 【2】フィードフォワード(2) インスリンの時間パターンによる生体ホメオスタシスの制御、AKT 低周波フィルタと細胞成長制御
○/○	第3回	1限 【3】ネガティブフィードバック 振動、共振周波数、固有値と解の振る舞い
○/○	第4回	1限 【4】ポジティブフィードバック ヘモグロビンの高次反応と協同性、ポジティブフィードバックによるスイッチ応答
○/○	第5回	1限 【5】ポジティブ+ネガティブフィードバック 神経細胞の活動電位、確率共鳴など
○/○	第6回	1限 【6】多階層オミクスを統合したデータドリブンシステム生物学
○/○	第7回	1限 【7】テスト

4 その他

※ 授業日程・内容などが変更されることがあるため、必要に応じて、UT-mate からシラバス情報を確認しておくこと。

科目名:オーミクス論

1 授業概要

オーミクスは、網羅的解析を基軸とするアプローチによって、従来にはない角度から生命を理解しようとする新しい学問分野である。本講義では、ゲノム、エピゲノム、トランスクリプトーム、プロテオームを対象に、基本的な方法論と戦略を概説するとともに、それらによって得られた代表的成果を紹介する。これらの学習を通して、データ駆動型科学としてのオーミクス、オーミクスにおけるバイオインフォマティクスの重要性、そして生命システムの解明においてオーミクスが果たす役割を理解する。

2 授業内容

- (1) 学期:冬学期(A1)
- (2) 単位数:1単位
- (3) 時限:水曜2限(10:25~12:10)
- (4) 評価方法:学期末試験の成績に、出席状況と各回の課題提出状況を加味して、総合的に評価する。
- (5) 責任教員:鈴木穰(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 生命システム観測分野 教授)
- (6) 教室:遠隔配信を行う。
情報生命科学実験棟2F 講義室、理学部3号館412号室、臨海副都心センター別館セミナー室

3 授業日程:現時点において、初回日以外は未定。授業タイトルは昨年度のものであり、変更される可能性がある。

10/4	第1回	2限	1. トランスクリプトーム概論
〇/〇	第2回	2限	2. エピゲノム概論
〇/〇	第3回	2限	3. ゲノムシーケンス概論
〇/〇	第4回	2限	4. 統合解析
〇/〇	第5回	2限	5. 新技術
〇/〇	第6回	2限	6. 総括 1
〇/〇	第7回	2限	7. 総括 2

4 その他

※ 授業日程・内容などが変更されることがあるため、必要に応じて、UT-mate からシラバス情報を確認しておくこと。

科目名: 発展講義Ⅷ(医学におけるバイオインフォマティクスの応用例)

1 授業概要

近年医療分野で網羅的な解析が進むにつれて、取り扱うデータ量も膨大になってきた。医療・医学に関わるメガデータの取り扱いの現状と、これらを医学へどの様に還元するかその仕組みや問題点について紹介する。また、パーソナルゲノム解析のために必要なバイオインフォマティクスの概念についても紹介する。具体的には以下の内容を講義する。

- (1) アレル、遺伝子型、ハプロタイプ等の人類遺伝学の基礎概念に続いて、GWAS(Genome-Wide Association Study)と連鎖解析(linkage analysis)の数理的背景を解説する。
- (2) 近年、盛んになってきているパーソナルゲノムの再解釈によるゲノム多型の観測が、次世代シーケンサーを使ってどのように実施されるかを紹介する。
- (3) 遺伝子発現量解析、全長 cDNA 解読、1 分子計測技術を用いた DNA シーケンシングを解析する。

2 授業内容

- (1) 学期: 冬学期(A1A2)
- (2) 単位数: 1単位
- (3) 時限: 集中(授業日程を参照)
- (4) 評価方法: 出席とレポートにより、総合的に評価する。
- (5) 責任教員: 森下真一(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 バイオデータベース分野 教授)
中井謙太(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 機能解析イン・シリコ分野 教授)
- (6) 教室: 遠隔配信を行う。
柏: 生命棟セミナー室1、白金台: 医科研2号館大講義室、本郷: 分生研本館2階会議室(206号室)

3 授業日程

- | | | | |
|-------|-----|----|---------------------------------|
| 11/24 | 第1回 | 2限 | 1. ゲノム医療における AI の利用(古川洋一) |
| | 第2回 | 3限 | 2. 遺伝子多型を用いた疾患リスク関連遺伝子解析(松田浩一) |
| | 第3回 | 4限 | 3. 癌細胞情報伝達ネットワークのプロテオーム解析(尾山大明) |
| | 第4回 | 5限 | 4. 遺伝子発現とその制御機構のコンピュータ解析(中井謙太) |
| 1/11 | 第5回 | 2限 | 5. 人類遺伝学入門(森下真一) |
| | 第6回 | 3限 | 6. パーソナルゲノム再解釈(笠原雅弘) |
| | 第7回 | 4限 | 7. 1分子シーケンシング(鈴木穰) |

4 その他

- (1) 連絡先: 内線 75131 knakai@ims.u-tokyo.ac.jp
- ※ 授業日程・内容などが変更されることがあるため、必要に応じて、UT-mate からシラバス情報を確認しておくこと。

科目名:先端バリアフリー論

1 授業概要

本授業では、バリアフリーに関する最新の研究について議論します。東京大学先端科学技術研究センターに所属する教員(中邑賢龍、福島智、巖淵守、近藤武夫、熊谷晋一郎)がオムニバス形式で担当します。

2 授業内容

- (1) 学期:夏学期
- (2) 単位数:2単位
- (3) 時限:木曜5限(16:50~18:35)
- (4) 評価方法:準備中
- (5) 責任教員:巖淵 守(先端科学技術研究センター 准教授)
- (6) 教室:駒場II 先端研3号館2階207室

3 授業日程

4/13(木)	第1回	中邑賢龍 教授
4/20(木)	第2回	中邑賢龍 教授
4/27(木)	第3回	福島智 教授
5/11(木)	第4回	福島智 教授
5/18(木)	第5回	巖淵守 准教授
5/25(木)	第6回	巖淵守 准教授
6/1(木)	第7回	近藤武夫 准教授
6/8(木)	第8回	近藤武夫 准教授
6/15(木)	第9回	近藤武夫 准教授
6/22(木)	第10回	熊谷晋一郎 准教授
6/29(木)	第11回	熊谷晋一郎 准教授
7/6(木)	第12回	熊谷晋一郎 准教授

科目名: 高齢社会総合研究学ⅩⅩⅦ(生殖・発達・加齢医学入門)

1 授業概要

＜授業の目的＞

生殖・発達・加齢医学専攻は、ヒトの一生を時間軸で捉え、その様々な居面を解析・研究するユニークな専攻です。本専攻領域における最先端の研究成果を紹介し、学生諸君の研究テーマを展開するためのアイデア、刺激とすることを目的とします。

＜授業の方法＞

生殖・発生、発達、老化という領域の中で、臨床と関連深いテーマを基礎及び臨床の両面からアプローチする講義を、それぞれの分野の第一人者が行います。

2 授業内容

- (1) ターム: 冬学期(A2・W)
- (2) 単位数: 0.5 単位
- (3) 時限: 火曜 5 限(16:50～18:35)
- (4) 評価方法: 出席
- (5) 責任教員: 大須賀 穰
- (6) 教室: 本郷キャンパス 医学部教育研究棟 13 階 第 6 セミナー室

3 授業日程

11/28	第 1 回	性ホルモンの分子医学	井上 聡 (東京大学医学系研究科加齢医学講座)
1/9	第 2 回	高齢者肺炎・摂食嚥下障害への病態解明と包括的アプローチの構築	海老原 孝枝 (東京大学医学系研究科加齢医学講座)
2/13	第 3 回	加齢に伴う骨代謝の変化と骨粗鬆症	細井 孝之 (東京大学医学系研究科加齢医学講座)

4 その他

医学系研究科で開講している生殖・発達・加齢医学入門の授業の中、加齢医学の授業を履修申請すること教科書及び参考書は特に指定無し

科目名:高齢社会総合研究学演習 I ~ X

1 授業概要

高齢社会総合研究学演習は、GLAFS の教育プログラムの中核をなす必修科目である。本演習は以下の要素から構成される。

- 1) フィールド演習(土曜・午後他随時)
演習指導には企業・行政等の現場の実務家をインストラクターとして招請します。
F 演習 1: 分野横断的チームを組んで地域社会の現実の課題に取り組むコミュニティ・アクション型(地域連携)
F 演習 2: 多様な高齢者や市民に寄り添い心を通わせるケア・システム実習型(対人ケア実習)
F 演習 3: 企業・行政等の現場で先端的課題に取り組むインターンシップ型(産学連携)
- 2) グローバル演習(土曜・午前または平日夜間)
高齢社会総合研究に関する世界トップの教育拠点であるミシガン大学とオックスフォード大学、そして東京大学が連携します。
G 演習 1: 英語によるコミュニケーションとプレゼンテーション
G 演習 2: 海外短期留学制度(留学生は海外または国内インターンシップ)
G 演習 3: 国際共同ワークショップ・スタジオ、外国人特別講義/セミナー(希望者のみ)
- 3) コアセミナー(土曜・午後)
他分野の教員やインストラクター、学生等による分野横断的なディスカッションの場を通じて学際的な研究指導の体制を確保します。
CS1: 修論・博論の研究に関し、他分野の教員やインストラクター、学生等による分野横断的なディスカッションの場を確保し、専攻での専門的研究が、現実の高齢社会問題の解決に資するものとなるよう、視野を広げ、発想を深める研究指導
CS2: 医療・看護・介護や、まちづくり、新たな高齢者ビジネスなどの様々な現場で活動されている第一人者の方をお招きし、お話をうかがい、ディスカッションするケーススタディ

2 授業内容

- (1) 学期: 夏学期・冬学期
- (2) 単位数: 半期 1 単位
- (3) 時限: 土曜 1-2 限(グローバル演習)、3-4-5 限(フィールド演習・コアセミナー)
- (4) 評価方法: 出席状況及び演習における活動・発表状況による。
- (5) 責任教員: 大方潤一郎(高齢社会総合研究機構 機構長・教授)
- (6) 教室: 本郷キャンパス 工学部 8 号館 722・701・702 号室・工学部 11 号館講堂 他
- (7) 開講日: 夏学期 グローバル演習 4 月 15 日(土) / コアセミナー 4 月 8 日(土)
冬学期 グローバル演習 / コアセミナー 10 月 7 日(土)

3 授業日程

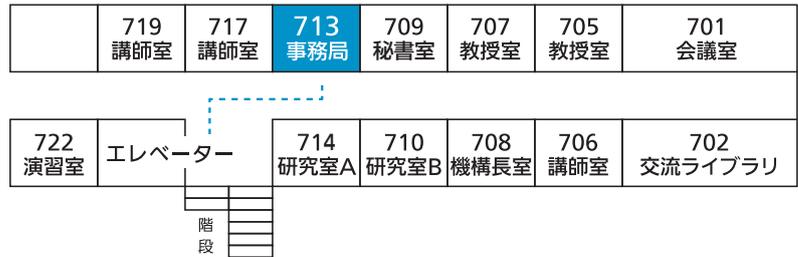
原則として学期中の土曜日午後はフィールド演習・コアセミナーが実施されるので、予定しておくこと。グローバル演習は土曜日午前中か平日夜間のいずれかに実施する予定である。日程の詳細については演習の授業中およびコース生向けメーリングリスト等を通じて通知する。各学年の履修科目番号は 3 頁参照のこと。

お問い合わせ・連絡先情報

事務局

東京大学高齢社会総合研究機構

工学部8号館7階フロア



〒113-8656

東京都文京区本郷7-3-1 工学部8号館713号

TEL/FAX 03-5841-1662

✉ info@glafs.u-tokyo.ac.jp

ホームページ

<http://www.glafs.u-tokyo.ac.jp/>



シラバスの詳しい情報はUT-mateでご確認下さい。



東京大学高齢社会総合研究機構

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 工学部8号館 713

<http://www.glafs.u-tokyo.ac.jp/> ✉ info@glafs.u-tokyo.ac.jp

Institute of Gerontology, The University of Tokyo

Faculty of Engineering Bldg.8.,#713.

7-3-1,Hongo,Bunkyo-ku,Tokyo,JAPAN ZIP Code 113-8656

+81-3-5841-1662 (TEL / FAX)